

つて防禦の地とした處であるから、大同附近に古代の遺物を觀たのは決して偶然で無い、それだから予は北清建築の研究を甚だ重要な事と認めるのである。

(完了)

◎式根島に於ける古銅鏡の發見 式根島新移住者の祖山本定吉が最初宅地を相して開拓せんとするの際古鏡二面と土器數個とを地中より發見したりと云ふ。曾て新島式根島を多年調査したる水越正義氏の說に據れば、一面は比較的新らたなるも、一面は圓形古銅鏡にして少くも一千年前のもの、土器は古墳時代に屬するものなるべしと云へり。云々。

(十月都新聞)

◎土佐の古建築 内務省技師伊東工學博士は、去る三十三年五月高知縣長岡郡五臺山竹林寺修繕補助費出願に關する實地調査の爲め出張し、同寺の文珠堂、三重堂、鐘樓堂及び土佐神社の本殿、拜殿國分寺の本堂等を調査したる事ありしも、自來其儘に打過ぎ居りしが、

今回同省保存會より龜岡技師出張し、一昨十六日原縣屬の案内にて土佐神社、五臺山竹林寺、國分寺の建造物調査を遂げたる結果、土佐神社の本殿と竹林寺の文珠堂は合格の見込みある由にて、又た文珠堂の大破損に付ては少くとも一萬五千圓以上の修繕費を要すべき見込みなりと。

(九月土陽新聞)

◎信濃の古墳墓 と題して、去月六日の信濃新聞に載する所左の如し。

▲南佐久郡 田口村大字田口に古墳あれども由來詳かならず、岸野村大字伴野に依田信蕃の墓、北相木大字北相木に伴陽貞長の墓あり。

▲北佐久郡 協和村大字比田井に彦猿島王の墓、本牧村大字望月に武陵、春日村大字春日に松平康國の墓あり。

▲小縣郡 長村大字真田に眞田一德齋の墓、同村字横尾に眞田信綱の墓、川邊村大字下ノ條に板垣信形、

矢代源吾、小島權兵衛、雨宮三郎兵衛等の墓あり。

▲更級郡 川柳村大字石川に古墳あれども由來詳かならず、西寺尾村杵淵に武田信繁の墓、稻里村大字下水飽に室住昌定の墓等あり。

▲埴科郡豐榮村字關屋に高坂昌定の墓、松代町字柴に山本道鬼、眞田信之の墓等あり。

▲上高井郡 都住村大字雁田に福島正則の墓あり。

▲諏訪郡 上諏訪町に松平忠輝の墓、下諏訪町に日根野高吉の墓あり、此他尙古墳あれども由來詳かならず。

▲上伊那郡 高遠町字西高遠に保科正直の墓、美和村字長谷に殿島重國外七名の塚、同河合に仁科信盛、小山田昌辰、渡邊照、諏訪勝、左衛門の室、花此他諸士の塚等あり。

▲下伊那郡 波合村字波合に尹良親王の墓を始め青山師市、羽川景庸、桃井宗徹、世良田義秋、世良田政義、桃井貞綱の墓等あり。

◎彙報

▲東筑摩郡 岡田村字岡本に國司菅生王の墓と小笠原忠脩の墓、錦部村大字刈谷原に太田資忠の墓、里山邊村に小笠原秀政の墓、松本村大字筑摩に縣塚、國司塚あり。

▲南安曇郡 有明村に小岩嶽圖書の墓あり。

▲北安曇郡 大町村に仁科盛忠の墓あり。

○編者いふ。式根島古銅鏡以下の三項は、前號本誌上に掲載の筈にて目次中にも記したりしが、植字の上頁數の都合にて省きおきしにより、ここに再び採録することとせり。

◎岐阜縣陵山の古器物發見 去九月二十九日岐阜縣可兒郡廣見村大字伊香小字陵山(舊名身隱山と云ふ)に於て古鏡及び石劍其他數種の石器を發掘したる由なるが、同古器物は石にて箱様の物を造り其内に納め、土中深く埋没し、周圍は赤粘土にて固めありしやにて、少しも破損の個所なく、彫刻の模様等より察すれば餘程古代の物らしく見ゆれども、果して何れの時代に屬

三六七